

授業科目	一般臨床医学				
担当者	藤岡重和（実務経験者） 岡本文雄（実務経験者） 福山智子（実務経験者） 福原雅之（実務経験者） 竹原友貴（実務経験者） 神納光一郎（実務経験者） 福矢吹裕栄				（オムニバス）
実務経験者の概要	科目担当者である 岡本、竹原、福原、藤岡は、医療機関において医師として診療業務に、福山は看護師として従事した経験がある。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

救急医学の概要と救急措置法について概説する。リハビリテーション医療に必要な救急病態を理解し、蘇生法、止血法、固定法、運搬法等の救急措置法を学習する。次に、外科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻科領域の代表的疾患について、病態、症状、検査、評価、治療を学ぶ。

## ■ 到達目標

1. 救急疾患の病態を理解し、蘇生法、止血法、固定法、運搬法等の救急措置法を修得する。
2. 外科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の代表的疾患について、病態、特徴的に現れる症状、治療法を説明できる。
3. 外科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科疾患におけるリハビリテーション留意事項を説明できる。

## ■ 授業計画

第1回	救急医学総論 (1)	岡本文雄（実務経験者）
第2回	救急医学総論 (2)	岡本文雄（実務経験者）
第3回	救急医学各論 (1) ショック、心肺停止	神納光一郎（実務経験者）
第4回	救急医学各論 (2) 意識障害、吐血、下血と腹痛	神納光一郎（実務経験者）
第5回	救急医学各論 (3) 外傷、環境障害	神納光一郎（実務経験者）
第6回	産科学	福山智子（実務経験者）
第7回	婦人科学	福山智子（実務経験者）
第8回	皮膚科学	竹原友貴（実務経験者）
第9回	皮膚科学	竹原友貴（実務経験者）
第10回	皮膚科学	竹原友貴（実務経験者）
第11回	眼科学	福原雅之（実務経験者）
第12回	眼科学	福原雅之（実務経験者）
第13回	耳鼻咽喉科学	矢吹裕栄
第14回	耳鼻咽喉科学	矢吹裕栄
第15回	総復習（国家試験対策）	藤岡重和（実務経験者）

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）100%】

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各授業では、次回までに学習すべき課題を提示しますので、事前学習を必ずしておいてください。また、次回授業までに、前回の授業内容を各自ノートにまとめて十分に復習してください。

## ■ 教科書

書名：PT・OTのための一般臨床医学

著者名：明石 謙

出版社：医歯薬出版

## ■ 参考図書

書名：救急診療指針 改訂第4版

著者名：日本救急医学会監修

出版社：へるす出版

## ■ 留意事項

試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 講義受講にあたって